

## 1 地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり

～つなげよう！学びを、人を、地域を～

- ◆読み聞かせボランティアのような支援の輪を広げ、子どもと活動を楽しみながら、地域ぐるみで子どもを支えていただく仕組みです。
- ◆様々な場面で子どもにかかわることで、地域も元気になりましょう。保育園や学校を核とした地域コミュニティの形成をめざします。

### <どんな効果があるの？>

#### ●子どもにとって

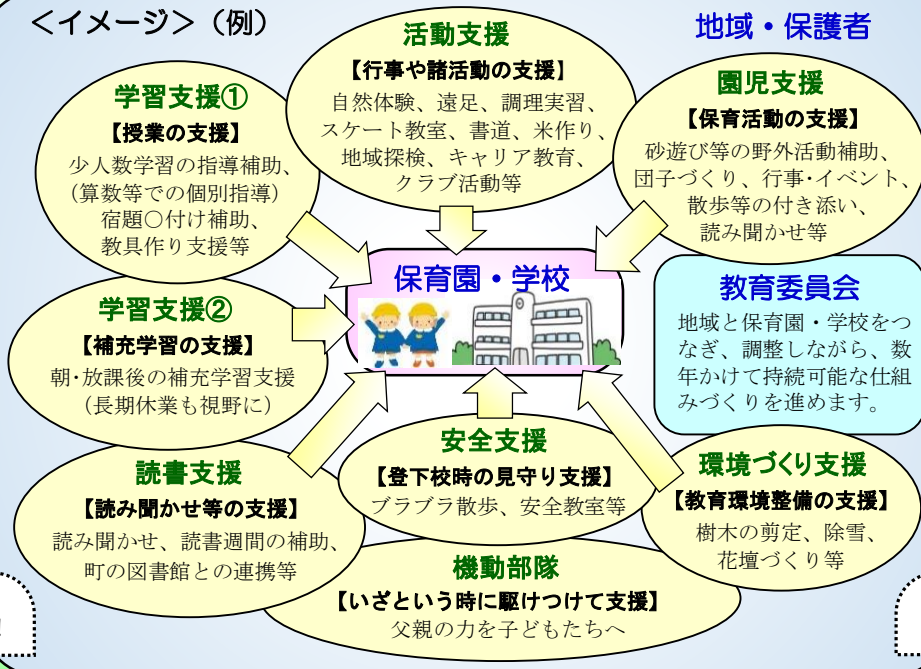
- ・学習意欲の高まり、学力・体力の向上
- ・地域や郷土への愛着心
- ・認められ、大切にされる喜び
- ・自己肯定感の高まり、心のケア
- ・人間関係力、コミュニケーション力
- ・地域の担い手としての自覚
- ・見守られている安心感

#### ●地域にとって

- ・子どもから得る活力、笑顔、感動
- ・自身の学びや生きがいがづくり
- ・健康の保持・増進
- ・地域で子どもを育てる気運の高まり
- ・家庭教育力の向上
- ・地域の絆、ネットワークづくり

互恵関係を大切にしながら徐々に進めていきます。  
ゆくゆくは施設面で可能な校園内に地域サロンを！

### <イメージ> (例)



### <どんな支援をするの？>

- 以前より各校で実施している「読み聞かせ」、「行事の引率や活動支援」、「米作りの指導や補助」、「下校時の見守り」等と同じような取り組みです。
- まずは、今ある取り組みの輪を広げていきます。
- さらに、保育園では遊びや運動、野外活動等に、学校では授業や諸活動、放課後の補充学習等を視野に、支援の分野や機会を拡大していきます。

### <どんなふうに進めるの？>

- ①各園・各校ごと、支援の分野や内容を検討し、地域・保護者に周知
- ②地域・保護者は、支援できそうな分野にボランティア登録
- ③コーディネーターが、保育園や学校の要請を受け、ボランティアに日時や内容を連絡
- ④ボランティアは、支援できそうなところを自由に選んで参加申込
- ⑤コーディネーターが調整して、ボランティアに正式依頼 → 【実際の支援へ】

③～⑤の調整の調整は、専属のコーディネーター（地域連携支援指導主事）が行います。この仕組みづくりのリーダーです。

## 2 学力向上および教育環境の充実

### ●より主体的・積極的に学びに向かう学習改善

- ・安心して自分を発揮し、友だちと響き合いながら新たな発想を生み出す学びの創造（大学教授による指導・研修）
- ・ホワイトボードの活用、ICT(情報通信技術)教育の推進等

### ●朝夕学グローアップ

- ・中学生希望者対象。朝や放課後の補充学習指導

### ●小1からの英語教育

- ・外国人教師による授業

### ●トイレ改修等環境整備



夕学グローアップ

## 3 子育てしやすいまちづくり

### ●富士見の自然や地域を活かした子育てや保育の充実

- ・健康診断時心理相談、家庭的な託児「ファミリーサポート」病児保育、子育てひろば「AiAi」、母子通園施設「すくすく広場」、森のいえ「ぼっち」（県の自然保育団体に認定）
- ・各保育園の特色を活かした保育の充実

### ●児童クラブの拡大

- ・6学年まで利用拡大

### ●公園の整備

- ・町民センター前の運動場を、子育てや健康増進等のための公園に！



森のいえ「ぼっち」

## 4 生涯学習・生涯スポーツの充実

### ●生きがいがづくり・健康づくり・地域交流の場づくり

- ・これまで育んできた取り組みの継承・啓発・発展
- ・各種講座、公民館活動、社会体育、各種スポーツ大会
- ・図書館・博物館活動等
- ・遺跡や文化財の保護・活用
- ・各種交流活動の促進

### ●施設の維持・管理・整備

- 土偶：国の重要文化財指定
- 駅伝：町の部優勝・総合8位
- 図書館：17年連続日本一



縄文王国収穫祭